

スポット受講  
詳細は2ページ  
料金  
1,000円/回  
何回でも可



**期間** 令和7年 5月31日(土)～令和7年7月26日(土) [全5回]

**実施場所** 生涯学習総合センター 〒803-0811小倉北区大門1-6-43  
(35ページアクセス参照)  
平野市民センター(第3回) 〒805-0068八幡東区桃園 4-1-1

**申込・問合せ先** 生涯学習総合センター  
〒803-0811 小倉北区大門1-6-43  
TEL:571-2735 FAX:571-0943

**時間** 14:00～16:00 (第3回10:00～12:00)

応募締切

5月12日(月)

スマートフォンからも  
お申込みできます▶



**定員** 30名

**受講料** 2,000円

受講生への  
メッセージ

コーディネーター：聞き書きボランティア「平野塾」渡辺 いづみ

日本被団協ノーベル平和賞受賞は、被爆国日本が、あらためてクローズアップされる機会となりました。

本年はいよいよ先の大戦から80年を迎え、各地での平和のための活動はさらなる拍車がかかっています。とはいえ、世界はますます格差と分断にみち溢れ、そこに目を背けるわけにはいきません。

一度始まった戦争は終結が難しい、ということは過去の歴史から既に学んできたことです。日々の生活の中、フェイクニュースや誤った情報に惑わされることなく、踏みとどまった上で、自分の頭で考え、今できることは何かを見出し、新たな一歩を踏み出すための講座を企画しました。

渡辺 いづみ

2008年より市民センター館長。2013年、平野市民センターに着任した後、八幡大空襲を聞き書きで記録する活動を開始。これまで、戦争体験の記録をのこす市民グループの立ち上げ後、毎年恒例となった「8・8八幡大空襲慰霊祭」と「門司の戦災・水害被災者の慰霊祭」の実行委員を務める。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	5/31 (土)	<b>市民が知っておくべき北九州の戦争 「関門海峡への機雷投下・門司空襲」</b> 日本の都市空襲を独自調査し、米国公文書館などで資料収集し続ける空襲研究の第一人者を招き、あらためてこの地で何が起こったかを学びます。	北九州市 平和のまちミュージアム 館長 <b>重信 幸彦</b>  空襲・戦災を記録する会 <b>工藤 洋三</b>
2	6/14 (土)	<b>情報への向き合い方とファクトチェック の必要性について考える</b> 情報過多の現代、不確かな情報に振り回され、考え方が偏ることで、判断基準があいまいになることをどのように防いでいけばよいかを学びます。	立教大学大学院 客員教授 日本ファクトチェックセンター 副編集長 <b>宮本 聖二</b> NHK放送局でのプロデューサーやYahoo!ニュースでの経歴を活かして活動中。
3	6/21 (土)	<b>戦争体験者と次世代との交流 「八文字カフェ」に参加してみる</b> *10:00～12:00 (時間変更) *八幡東区平野市民センター(現地集合)	聞き書きボランティア 「平野塾」代表 <b>出来谷 通保</b> 2014年に立ち上がった市民団体、戦争体験者の証言を記録する活動を軸に、次世代への継承活動を続けている。
4	7/12 (土)	<b>戦争体験者の記憶を映像として 後世にのこしていくことの意義 ～SNS配信・学校教材のための 動画制作活動の実際に学ぶ～</b>	平和教育動画株式会社 <b>上山 翔太</b> 動画「日本で生きる人たちへ」、体験者の未来へのメッセージを次世代に向けて配信中。
5	7/26 (土)	<b>戦後80年、 新たな一歩を踏み出すために・・・ ～学びを振り返りながら今、何ができるかに ついて、しっかり語り合おう！～</b>	ファシリテーター 認定NPO法人好きっちゃ北九州 理事長 <b>入門 真生</b> まちづくり、防災、環境、平和をテーマにした講座やワークショップで、講師やファシリテーターを担う。